



フラス1

～いつもの支援を一工夫～

岐阜県立東濃特別支援学校

地域支援センター通信

No. 29 (H28. 9月号)

暑い暑い夏から秋へと移り変わろうとしています。皆様の学校では運動会、体育大会が無事に終了している頃ではないでしょうか。本校では、春に運動会を終えていますので、2学期のスタートは比較的スローテンポで動き出しました。

さて、この夏も熱い熱い、研修会を開催することができました。3講座ともたくさんの参加をありがとうございました。一緒に勉強できたこと、そして得たものを今後に生かそうと元気になったこと、それらが、きっと実を結ぶと信じ、さあ、2学期（後期）も頑張りましょう！

センター的機能研修会へのご参加、ありがとうございました。

今年度は、岐阜聖徳学園大学 安田和夫先生、山形大学 三浦光哉先生、名城大学 曾山和彦先生を招聘し、研修会を行いました。3講座とも、たくさんの皆様にご参加いただきました。また、研修後のアンケートのご協力、ありがとうございました。ご意見やご感想は、講師の先生方にお渡ししました。研修会の運営に関しては、今後開催の際の参考にさせていただきます。

学校と保護者の間で、児童生徒に対するの共通理解を図り、信頼関係を構築するためには、個々の実態に合わせた環境整備、支援機関の連携、教育内容の評価と改善を保護者の意見に受容、傾聴しながら、続けていくことが大切だと感じました。

演習をとおして、教育と医療、福祉等の各機関が早期から連携し、地域全体で支援にあたる大切さを改めて実感しました。子どもたちが障害の有無や実態にかかわらず、最大限に力を発揮するためには、チームで体制を組んで対応する姿勢が大切だと学びました。

「ハンカチ理論」を始めとして実践に基づいた確かな支援の考え方、方策をたくさん、教えていただきました。子どもたちの自尊心を育むこと、ソーシャルスキルを育むためのルールの遵守や違反をキャッチするアンテナをもつこと、発達年齢に応じたほめ方や注意の仕方を学びました。

地域土曜親子教室のご案内

10月15日（土）に、今年度二回目となる地域土曜親子教室を行います。地域の皆様とのつながりのパイプをより太くすることを目指します。

多治見、土岐、瑞浪の三つのグループに分かれ、それぞれの地区の学校や施設をお借りして活動を行います。今回は、親子での活動に加え、地域のボランティア団体や活動団体の方々にご協力いただき、ともに活動させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

曾山和彦先生の研修会情報！！

教育カウンセリング研修会（コラボ研修会）について

- 日時 平成 28 年 12 月 18 日（日） 10 時～15 時
- 会場 名城大学天白キャンパス 南棟 S-202
- 講師 大竹直子（千葉大学非常勤講師）
& 曾山和彦（名城大学教授）
- 演題 お薦め！ 教育に活かせるカウンセリング理論
- 会費 一般 2000 円 学生 1000 円
- 定員 100 名
- 申込み開始 9 月 18 日（日）

* 詳細案内は曾山先生のホームページからご確認ください。

子どもの発達 ～思春期と自己肯定感～

今回のコラムは、より心や身体が大きく成長する「思春期」の子どもたちに着目します。「思春期」は、自我を確立する上で大切な時期であるとともに、さまざまな問題が表出しやすい時期でもあります。彼らが今後も含めて対面する可能性のある難しさや、私たちがかわる上で大切にしたい姿勢を考えます。

い姿勢を考えます。

私たちはストレスや不安を感じると、さまざまな「壁」を作って身を守って生活していますが、子どもたちは身近な大人の助けやかわりによって、少しずつ自分でそれらに対処できるようになっていきます。子どもたちが発達する上で「自己評価」や「自己肯定感」、「自尊感情」

は大切です。前述の「思春期」でみられる「緘黙」「不登校」「自傷行為」等の行動の背景には、「自己評価の低さ」が考えられます。自分の障がいから生じる困難さや「いじめ」「虐待」等、自分を「否定」される体験、身近な大人との希薄なかかわり等が影響していることがあります。

叱ってはいけない子に必要なこと

「きつと訳があるんだよね。まず、それを言ってごらん。」

まず事情、理由、言い分を聴く

「わかったよ。」

理解する、認める

かかわる上でのポイントを二つ、一つ目は、「子どもの性格や特性を見極めて、手助けやかわりを行うこと」。「問題行動」をしたとき、普段から「傷ついていることをうまく表現できない」「反発してしまう」子どもには、叱る前に、事情や理由、言い分を聴いて、言葉や態度等で「理解している」「認めている」気持ちを示すことが大切です。

二つ目は、「学校や家庭等のそれぞれの場面で、大人たちが「母性」「父性」的な役割を意識し、かかわりのバランスをとること」です。「母性」

的なかかわりとは、存在を認めて「安らぎ」「くつろぎ」を感じられるものです。子どもたちが自分の長所に気づいて自信をもち、自律した行動がとれるようになり、規則が守れるようになります。「父性」的なかかわりは、「しつけ」や「訓練」「教育」を通して、価値観を教えるかわりを指します。「母性」的なかかわりが十分に与えられていると、「父性」的なかかわりも受け入れることができます。

チームで子どもへのかわりのバランスがとれているか、見つめなおしましょう。

東濃特別支援学校

キラキラハッピー 学校祭

11月3日(木) 9:30～14:30

入場無料

お菓子袋を無料で配布します。ぜひご来場ください！！※数に限りがございます。

9:30～ ゆるキャラ大集合

本校のマスコットキャラクター“キラッピー”をはじめ、岡崎市のご当地キャラ“オカザえもん”（オカザえもん種族）まで、10体以上のゆるキャラが大集合！

10:00～ あそびコーナー

起震車体験、キッチンペーパーや新聞紙を使った災害時お役立ち工作コーナー、お菓子釣り、人形劇等、幅広い年齢のお子さんたちが楽しめます！

11:30～ 作業作品販売

本校中学部、高等部の生徒がつくった作品を販売します。木工作品、陶芸作品、クラフト作品、縫製作品の他、喫茶コーナーもあります。

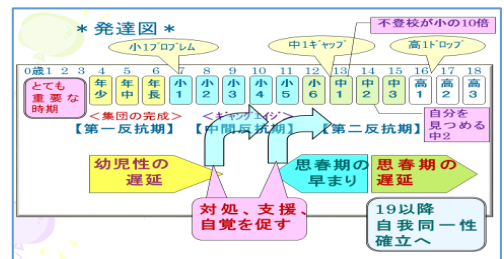
10:00～ 福祉事業所の製品販売、食べ物の出店多数！！

地域にある、障がいがある人たちが働く事業所が数多く出店し、そこで作られた製品を販売します。その他、パン、たご焼き、たじみそ焼きそば、唐揚げ、クレープ、鬼饅頭等の食べ物の店も出店します！

土岐市文化プラザ 土岐市土岐津町土岐口2121番地の1

◆主催：岐阜県立東濃特別支援学校
◆問い合わせ先：0572-55-4821 担当：梅村

Tel:0572-55-5711



自己評価
セルフ・エステーム
自己肯定感
自尊感情

子どもの発達に大切な要素

